



国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料	平成26年10月10日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者クラブ
岡山市記者クラブ

～岡山のルーツをめぐる旅～

「ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議」エクスカーションで 旭川・百間川を世界に発信！

岡山市で開催される「ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議」の会議参加者用エクスカーション（視察旅行）として、旭川・百間川を案内します。

自然溢れる水と緑を満喫しながら、今も江戸時代から残り未来へ繋げていく取り組みが行われ、近世と最新の治水技術が共存する旭川、百間川などの河川や干拓地などを巡ります。

詳細は別紙のとおりです。

記

日 時：平成26年10月12日（日）9時30分～

（気象条件により中止の場合は前日夕刻にお知らせします。）

集合場所：岡山コンベンションセンター

参加者：世界各国からの参加登録

（※ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議出席者のみの募集としております。）

問い合わせ先

【エクスカーションの旭川・百間川コースの内容について】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101（代表）

電話 086-223-5187（調査設計課）

【担 当】

副所長 川島 明昌（内線205）

調査設計課長 児子 真也（内線351）

Kominkan-CLC

International Conference on ESD

- Community Based Human Development for Sustainable Society -

「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」 Aコース 岡山のルーツをめぐる水の旅

岡山の街は、水を治め、海から農地を拓いてきた先人の営みのうえに発展をとげてきました。江戸時代(17世紀)、池田光政・綱政の治世に熊沢蕃山、津田永忠を重用して進められた治山、治水事業や干拓による新田開発などにより、現代の岡山の都市の基盤が築かれました。

水と緑を満喫しながら、旭川、百間川など、今も残り未来に伝えるための取り組みが行われている近世の治水技術が生きる河川や、干拓地などを巡ります。特に、百間川一の荒手では、300年前の遺産を未来へ伝える川づくりの現場を見学します。そして、水と人の関わり、歴史、自然、水の恵みなどを体験していただきます。

時間	内容	備考
9:30	岡山コンベンションセンター出発	
10:00	百間川分流部 一の荒手 (今在家河川防災ステーション)	
10:35	二の荒手(中島竹田橋)	車中
10:45	陸閘門跡	車中
11:00	百間川河口水門	
11:45	ケレップ水制	車中
12:00	岡山城・後楽園周辺	車中

時間は概ねの目安です。現地の状況により若干ずれる場合があります。

旭川と百間川（旭川放水路）の概要

■旭川は岡山県の中央部を流れ、下流部は人口・資産が集中する岡山市街地を貫流し、岡山城や後楽園を抱えています。

